

センチュリー赤尾コレクション×斯道文庫

書を極める

鑑定文化と 古筆家の人々



Century Akao Collection × Institute of Oriental Classics (Shido Bunko)
Identifying Hands:
Attributional Culture and the Kohitsu Family

Keio Museum Commons
慶應義塾ミュージアム・コモンズ

2022年 4月18日[月] - 6月24日[金]

土・日・祝日は休館

*5月14日(土)、6月18日(土) 特別開館

*5月16日(月)、6月13日(月) 臨時休館

開館時間=11:00-18:00

入場無料/事前予約制 *KeMCoのウェブサイトからご予約ください。

シンポジウム 5月14日(土) 最新情報はウェブサイトをご確認ください。

<https://kemco.keio.ac.jp/>

会場=慶應義塾ミュージアム・コモンズ(慶應義塾大学 三田キャンパス東別館)

Keio Museum Commons (East Annex, Keio University Mita Campus)

主催=慶應義塾ミュージアム・コモンズ、慶應義塾大学附属研究所斯道文庫

Organized by Keio Museum Commons,

Institute of Oriental Classics (Shido Bunko)

18 April (Mon.) - 24 June (Fri.) 2022

[Closed Saturdays, Sundays, and Public Holidays]

Special opening days: 14 May (Sat), 18 June (Sat)

Temporary closing days: 16 May (Mon.), 13 June (Mon.)

11:00-18:00 Free admission

Advance reservations via the KeMCo website required.

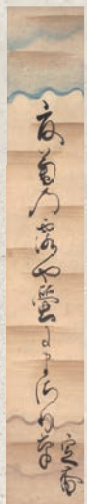
Symposium 14 May (Sat.)

Please check our website for the latest information.

協力=慶應義塾大学三田メディアセンター

Cooperated by Mita Media Center

(Keio University Library)



Identifying Hands: Attributional Culture and the Kohitsu Family

センチュリー赤尾コレクション × 斯道文庫

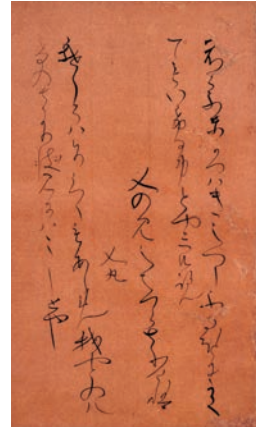
書を極める 鑑定文化と古筆家の人々

筆記用具として筆を使用していた国々では、書を鑑賞する文化が特に発達しており、日本も例外ではありません。江戸時代には古い筆跡である古筆を珍重することが盛んとなり、欠けた書物を分割し、書の美術品である古筆切として、鑑賞したり蒐集したりすることが流行しました。筆者名で分類と整理が行われる決まりであったことにより、筆跡鑑定を職業とする家が成立しました。古筆家はその中心的な存在で、別家(分家)と区別して古筆本家と呼ばれます。2021年に慶應義塾に寄贈された、センチュリー赤尾コレクションには、江戸初期から昭和期までの約300年の鑑定活動を通じて、古筆本家に集積した膨大な資料や記録などがまとまって存在しています。筆者を明らかにすることは、不可能との戦いでもあります。今回の展示では、古筆本家歴代の人々が仕事と格闘したありさまを、斯道文庫や慶應義塾図書館などの資料も交えて紹介いたします。

主な出品作品

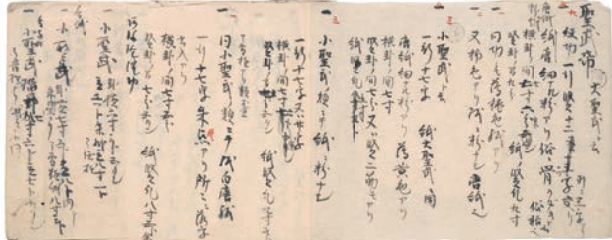
1 「書を鑑賞する」

左:「古筆短冊貼交屏風」、鎌倉時代～江戸前期(13-17世紀)、三田メディアセンター(慶應義塾図書館)
右:伝小大君筆、「香紙切」(麗花集巻第八)、平安時代(11世紀)、慶應義塾(センチュリー赤尾コレクション)



2 「筆跡鑑定という仕事」

表面: 版本・写本『古筆名葉集』類8点、江戸時代～昭和期(19-20世紀)、慶應義塾(センチュリー赤尾コレクション)
下:『写本名葉集』存8冊、江戸後期(19世紀)、慶應義塾(センチュリー赤尾コレクション)



3 「古筆本家の人々」

古筆了信贊・安田靱彦筆、「古筆了佐像」、大正期(20世紀)、慶應義塾(センチュリー赤尾コレクション)
下:古筆了意贊画、「自画像」、江戸中期(18世紀)、慶應義塾(センチュリー赤尾コレクション)



4 「筆跡鑑定書のさまざま」

『藻塩草手鑑目録』、江戸後期(19世紀)、慶應義塾(センチュリー赤尾コレクション)



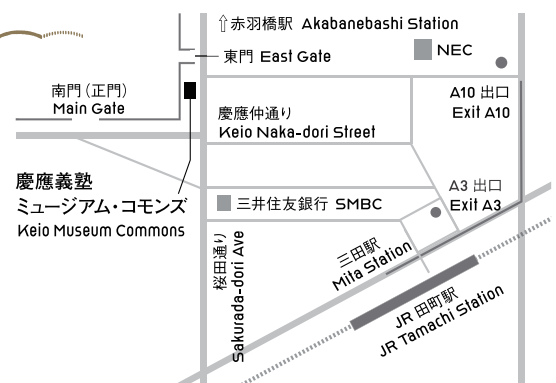
5 「古筆切の作り方」

伝清水谷実秋筆、「持明院切本後拾遺集残簡」及び「持明院切」、南北朝時代(14世紀)、慶應義塾(センチュリー赤尾コレクション)

お問い合わせ=慶應義塾ミュージアム・コモンズ
〒108-8345 東京都港区三田2-15-45 <https://kemco.keio.ac.jp/>
Tel. 03-5427-2021 Fax. 03-5427-2022 hello@kemco.keio.ac.jp
アクセス ○田町駅(JR山手線/JR京浜東北線)徒歩8分
○三田駅(都営地下鉄浅草線/都営地下鉄三田線)徒歩7分
○赤羽橋駅(都営地下鉄大江戸線)徒歩8分



ご予約はこちら
Reservation



□ 松隠玄棟讀、「古筆了取像」、元禄15年(1702)、慶應義塾(センチュリー赤尾コレクション)
□ 写経手鑑「難波浦」、江戸時代(17-19世紀)、慶應義塾(センチュリー赤尾コレクション)
□ 版本・写本『古筆名葉集』類8点、江戸時代～昭和期(19-20世紀)、慶應義塾(センチュリー赤尾コレクション)
□ 『知識拙記』2巻より付属品、江戸時代(17-19世紀)、慶應義塾(センチュリー赤尾コレクション)
□ 古筆了祐筆、「古筆了祐句短冊」、江戸前期(17世紀)、慶應義塾(センチュリー赤尾コレクション)